

イノベーションシステム整備事業  
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム  
「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」  
第53回 プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2014年4月25日(金) 17:00~18:00

【会場】 横浜市立大学 先端医科学研究棟 5階会議室

【来場者】 約 21名

【内容】

演題：「バイオ医薬品の開発及び製造と質量分析」

講師：国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 部長 川崎ナナ先生

発表要旨：近年では、医薬品世界売上上位を抗体医薬品等バイオ医薬品が占めている。バイオ医薬品開発は、世界の医薬品産業を牽引しているといわれる。臨床の場においても、糖尿病、貧血、関節リウマチやある種の抗悪性腫瘍治療では、バイオ医薬品は不可欠な医薬品となっている。本研究会で、川崎博士は、バイオ医薬品、特に抗体医薬品に関する研究や産業の現状について解説した。また、バイオ医薬品の構造は複雑で、また、高次構造糖鎖等翻訳後修飾、及び不純物等は製造方法に依存して変動する可能性がある。川崎博士は、バイオ医薬品の開発及び製造において質量分析の役割について紹介した。また、糖蛋白質の質量分析のための新しい試料調製方法についても言及した。講演に対して多くの質問が出され、意義深い研究会になった。